



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

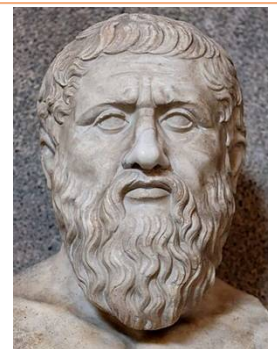
〈人間活動学〉

『プラトン』

ソクラテスの弟子・プラトン
アカメデアという学園で多くの弟子を育成
プラトン哲学の中心はイデア論
事物の本質イデアは理性によって捉えられる
感覚によって経験される絶えず変化する不完全な世界は現象界

それを超えて永遠不変の完全な世界はイデア界
イデア界は現象界から独立に存在すると考えた
理性によりイデアを捉えて真理が認識
真の知識・エピステーメーが獲得
二元論・「イデア界と現象界」
解りやすく言うと「精神と物質」

「洞窟の比喻」と「太陽の比喻」
洞窟に映った影を見ている囚人
影を本当の存在だと思い込む
感覚によって捉えられるイデアの影である現象界の事物
真の存在だと思う
しかし、実際は明るい太陽の下では見られない
事物の真の姿を捉えたいなら
明るい光の下ではっきりとイデアを認識
太陽の光は善のイデア
イデアの中で最高のイデア
他のイデアをはっきり認識させる知識と真理
真・美・聖を価値づけるのは善のイデアである
善そのものが最も重要なイデアのイデア



なぜイデアを認識できるのか
魂は生まれる前にイデア界に住んでいた
現象界に住むと魂はイデア界を忘れる
美しいものを見ることで魂は美しく完全なイデアを思い出す

イデアに憧れ求めるようになる・エロース
思い出すことをイデアの想起・アナムネーシス
イデアを認識できるのは感覚的事物を手掛かりにイデアを思い出すから
真理の認識とはエロースを原動力としたイデアの想起

対話篇「国家」の中で正義とは何か
人間の魂は理性・気概・欲望の三つ
それは知恵・勇気・節制
知恵の徳を実現する
善のイデアに向かう理性が気概と欲望を導く
それ魂の正義
知恵・勇気・節制・正義
これギリシア四元徳
統治者階級・知恵を愛し善のイデアを認識
防衛者階級・勇気を備えた気概
生産者階級・節制
統治者は善のイデアを認識できる者
それ哲学者
哲学者が統治者となる政治
それ哲人政治
理想国家実現へ

注・上の文章はイデア論・「洞窟の比喻」と「太陽の比喻」・想起説・魂の三分説と理想国家論の4つで構成しています。